利き過ぎるブレーキを自分の感性に近付ける

ハイブリッド車特有の「カックンブレーキ」が気になるユーザーにおすすめしたいのがディクセル社のブレーキパッド。フィーリング改善で快適性アップ。

ハイブリッド車特有のフィーリングを改善

ガソリン車からハイブリッド車に乗り換えたユーザーで、ハイブリッド車特有の違和感「ブレーキをちょっと踏んだだけで急制動がかかってしまう」いわゆる「カックンブレーキ」に悩んでいるユーザーは多いのではないだろうか？

そんなユーザーにぜひ試してもらいたいのが、ディクセル社から発売されているブレーキパッドシリーズの「EC（エクストラクルーズ）」と「M」だ。

ECとはどんなブレーキパッドなのかというと、ノーマルパッドと同等の価格設定ながらブレーキダストの低減、ノーマルパッドを凌駕する耐摩耗性、ローターへの攻撃の低さと、とても経済的なパッドなのだ。

さらに、このパッドにはコントローラブルな摩材が使われていて、ドライバーがブレーキを踏んだら踏んだ分だけ利いてくれる、高いコントロール性を備えている。そんなコントローラブルなパッドをハイブリッド車に使えば、特有の「カックンブレーキ」を改善し、扱いやすく乗りやすい、ドライバーの感性に近付けたブレーキフィーリングが手に入るのだ。

もうひとつのブレーキパッドのMは、大径ホイールを装備するドレスアップユーザーにおすすめしたい。それはなぜかというと、ECよりもワンランク上のブレーキ性能を確保しながらも、ブレーキダストを徹底的に低減させているからだ。重い大径ホイールを履くと必然的に制動距離は延びてしまう、それをMの制動力で補うとともに、自慢のホイールがブレーキダストで真っ黒なんて悲しい思いをしなくて済むのだ。Mはドレスアップユーザーにピッタリなパッドなのだ。

優れた利きを確保しながらリーズナブルな価格設定

国産のみ

ブレーキパッドシリーズ
EXTRA Cruise EC TYPE

定価	フロント8,400円～ 軽自動車品番：6,300円～ リヤ6,300円～
材質	NAO（ノンアスベストオーガニック材）
適正温度	0～450℃
対象ステージ	ストリート、ワインディング（ノーマル）

ノーマルブレーキとほとんど変わらない手頃な価格設定ながら、ノーマルブレーキの性能を上回る。さらに高い耐摩耗性を備え、経済性に優れたブレーキパッドとなっている。

制動力を犠牲にしないでダストを大幅に低減

ブレーキパッドシリーズ
M TYPE

国産車用定価	フロント16,800円～ リヤ16,800円～
輸入車用定価	フロント18,900円～ リヤ18,900円～
材質	ノンスチール・セラミックファイバー
適正温度	0～500℃
対象ステージ	ストリート、ワインディング（ノーマル）

ECよりもブレーキダストの少なさ、ローターへの攻撃性の低さ、コントロール性の高さが特長。踏力に応じて利きが上がる、ワンランク上のブレーキコントロールを可能とする。

DIXCEL BRAKE PAD SERIES EXTRA Cruise/M

ブレーキパッドシリーズ エクストラクルーズ／M

問い合わせ●株式会社ディクセル
TEL●072-654-0121
URL●http://www.dixcel.co.jp/

●ブレーキパッドシリーズ

EC	M	X	Z
8,400円	16,800円	21,000円	23,100円

●ブレーキディスク（フロント）※リヤ用開発中

PD	SD	HD	HS
16,800円	25,200円	27,300円	35,700円

価格はプリウスα用

●ブレーキフルード

328レーシング（500mℓ）	2,520円
ブレーキフルードDOT4（1ℓ）	ボトル：1,890円

↑→ローターでおすすめしたいのはスリットの入ったSD。性能の良さはもちろん、見た目の格好良さも手に入る。さらにオプションでカラードローターを設定。シャンパンゴールドが人気とのこと。

ディクセル社ではブレーキフルードもラインアップ。パッド、ローター、フルードと、ブレーキ系統全体でトータルチューニングができる。

あまり知られていないブレーキ性能低下の原因

ブレーキメンテナンスの盲点はローターにあるというディクセル社の金谷氏。ローターには熱許容量というものがあり、ローターが削れて熱許容量が下がると歪みや性能低下の原因になるという。

株式会社ディクセル 広報企画 金谷大輔氏